

令和4年11月9日
広島県立日影館高等学校

おもてなしんぶん

10月29日(土)に、吉舎おもてなしプランを日影館高校で行いました。本校生徒147名、広島大学のHUSAプログラム交換留学生・広島大学共創学科学生の34名、三次市立吉舎中学校9名が参加をしました。様々な国からの大学生を迎え入れ、異文化間交流をしました。

9:00～ 準備：留学生の到着まで準備



10:30 留学生到着：全校生徒でお迎え



11:00～11:45 全体会：留学生の自己紹介とグループでのアクティビティ



12:00~12:50 クラス交流：本校生徒と留学生から文化に関するプレゼンテーション



13:40~15:10 街歩きガイドツアー：本校生徒が留学生に吉舎の魅力伝えながら歩くガイド



15:20~15:40 お別れ式：留学生と校長先生からのスピーチ，写真撮影



生徒の感想

- うまく話せなくても、伝えようと努力し、楽しい時間を過ごすことができました。失敗を恐れてしまいがちなのですが、今回大学生の方と交流して人とコミュニケーションをとることが、少し楽になりました。これからの人生に活かしていきたいと思います。
- 広大生の方の日本語がとても上手でびっくりしました。外国の方がこんなに日本語を喋れるなら自分も英語を普通の会話くらいは話せるようになっておかないといけないと感じました。海外について興味を持つきっかけにもなりましたし、もっと英語を喋れるようになりたいと思うきっかけにもなりました。今回感じたのがやはり語彙の少なさです。相手と意思疎通を図るために単語だけでも思いが伝えられるように、とにかく単語を覚えたいと思いました。コロナ禍で外国の方とお会いするのが難しい中おもてなしプランで、外国の方とお話ができる機会が設けられていたことにほんとに感謝しかないなと思いました。楽しかったのでまたやりたい気分です。

最後に

この行事の目標は、「多様性を認め合い、自分と他者の心理的距離感を縮めようとする」でした。相手を受け入れて前向きにコミュニケーションを取ろうとしている姿が多く見られました。留学生の一人は帰る際に、「このような経験をさせてもらって、本当にありがとうございました。」と本当に喜んでいました。みなさんのおもてなしの心は十分受け取ってもらえたようです。また、当日街歩きガイドツアーの際に、吉舎町のお店の方、あーとあい吉舎の方、良神社の方、お世話になりありがとうございました。吉舎町の魅力は十分伝わったようです。

※この事業は、三次市グローバル人材育成事業より補助金を受けています。